

地域社会と共存する企業を目指す富士フィルム九州の取り組み

南阿蘇村と水源かん養林整備契約を締結

平成 19 年 2 月 6 日

富士フィルム九州株式会社（社長：山口 光男、以下：富士フィルム九州）は、南阿蘇村発足後第一号となる水源かん養林整備契約（植林）を締結いたしました。

富士フィルム九州は、富士フィルム株式会社（社長：古森 重隆）のフラットパネルディスプレイ材料事業の主要製品「フジタック」※1の生産拠点として、昨年 10 月 30 日に第 1 工場が本格稼働を開始しました。「フジタック」は優れた光学特性を持ち、液晶用偏光板の保護フィルムとして、液晶ディスプレイの製造に不可欠な材料です。液晶ディスプレイの世界的な需要の急拡大に対応し、当社は更なる能力増強と安定供給の強いニーズにお応えしていくため、本年の 8 月には第 2 工場、来年 4 月には第 3 工場を順次稼働させていく計画です。

このような計画の下、当社は積極的な事業活動を進めることにより地域経済の発展に貢献していくと同時に、企業として活動を行う上で重要な「環境の保全」や地域における「文化の振興」※2に積極的に取り組んでいきたいと考えています。中でも、熊本県が広く進めている各種の水資源の保全活動に貢献していくことは、地域と共存する企業として非常に重要であると考え、当社工場内での雨水の積極的利用や、徹底した節水および循環使用による水資源の有効利用はもちろんのこと、地域に貢献できる様々な水資源保全活動の検討を進めてきました。

今回、熊本県、南阿蘇村の協力を得て、重要な地下水かん養地帯である白川上流域の南阿蘇村での水源かん養林整備（植林）を推進することを決定し、契約締結する運びとなりました。実施する内容は以下のとおりです。

実施内容

- | | |
|-----------|--|
| ① 対象地 | : 阿蘇から熊本市内に流れる白川上流域
所在 阿蘇郡南阿蘇村大字久石字赤迫 4409-2 (村有地) 造林面積 5.24ha |
| ② 植栽木 | : 広葉樹 (コナラ、ヤマモミジ、ヤマザクラ) 約 13,000 本 |
| ③ 植栽・契約期間 | : 契約日 平成 19 年 2 月 6 日、植栽予定 平成 19 年 3 月
契約期間 平成 19 年 2 月 6 日～平成 34 年 2 月 5 日 (15 年間)
締結者 山口 光男 富士フィルム九州社長
今村 輝昭 南阿蘇村村長 |

富士フィルムは、各種フィルムの製造に不可欠なきれいな水と空気を大切にすることを、創立以来の理念「環境配慮・環境保全は企業活動の根幹をなす」に基づき、様々な活動として進めてきました。富士フィルム九州もこの理念に基づき、積極的な地域との交流、環境保全に努め、地域社会と共存する企業を目指していきます。

※ 1 フジタック：TAC (セルローストリアセート) を素材とし、液晶用偏光板の保護膜として使用されるフィルム。

※ 2 文化の振興：昨年 12 月に地域振興と環境保全活動を進める「南阿蘇えほんのくに」のパートナーとして協賛を決定しました。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係・お客様 富士フィルム九州株式会社 総務部

TEL 096-340-9000

その他以下のホームページアドレスで、富士フィルムグループの環境・社会活動を紹介しています。

<http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment>